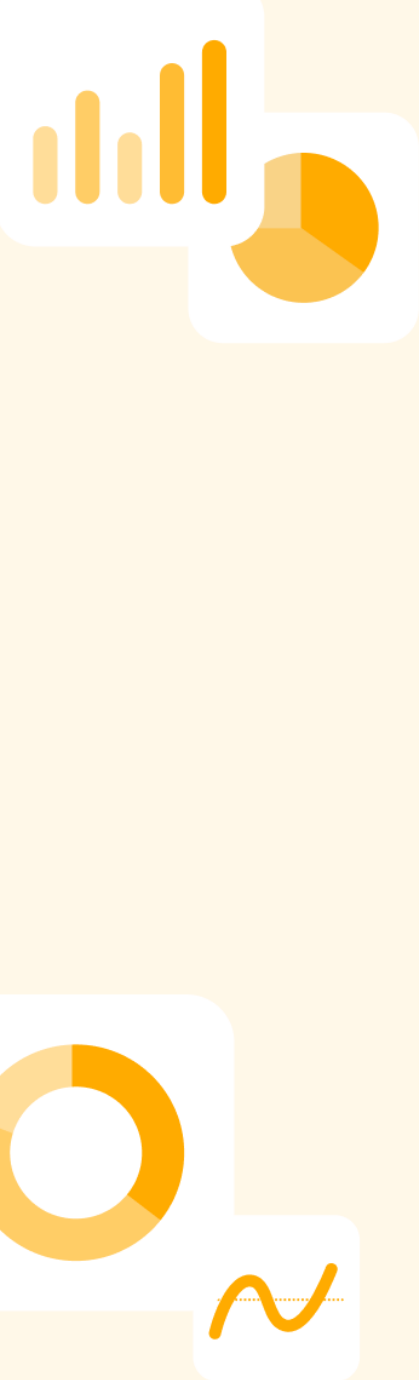




防災に関する 意識調査

全国共済農業協同組合連合会 調べ



調査サマリー

JA共済連では、全国の男女20歳～60歳 計5,000人を対象に「防災意識に関する意識調査」を実施しました。
この結果、日本国内にお住まいの約6,500万人※が、防災訓練を3年以上行っていない『防災訓練休眠人口』であるという実態が明らかになりました

Insight①

災害の頻発を受けて
災害への不安が年々増加



Insight②

防災訓練は重要と考えるが
約70%は3年以上未実施



Insight③

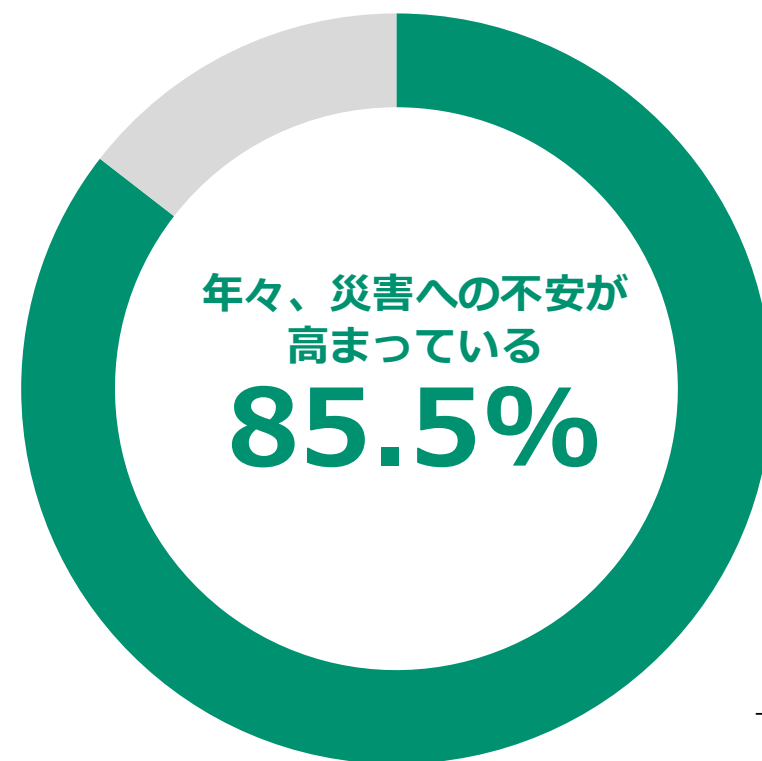
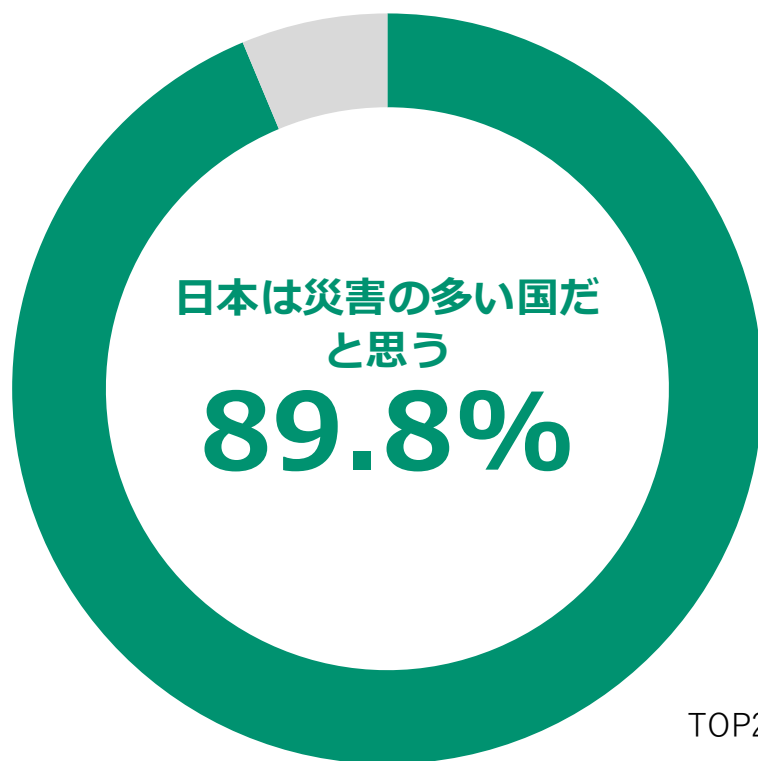
離れて暮らす家族の
災害時の備えを心配している



災害の頻発を受けて災害への不安が年々増加

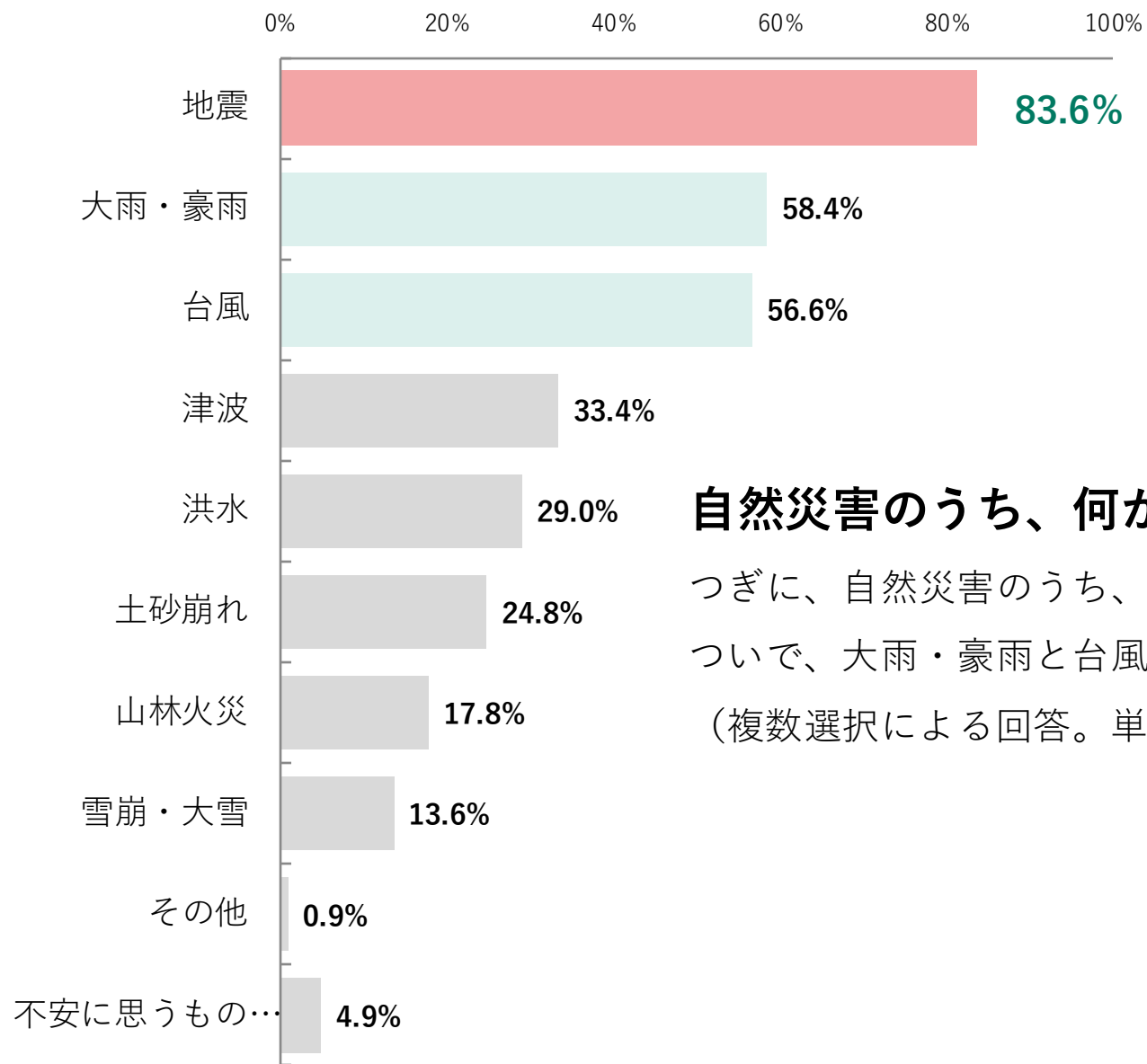
日本は災害が多い国であるかたずねたところ、実に90%近くの人が、災害が多い国と回答しました。

また、年々不安が高まっているかたずねたところ、約85%の人が不安は高まっていると回答しています。



日本人は、災害の発生に対する意識がとても高く、さらに年々危機意識を高めていることが伺えます。

災害の頻発を受けて災害への不安が年々増加



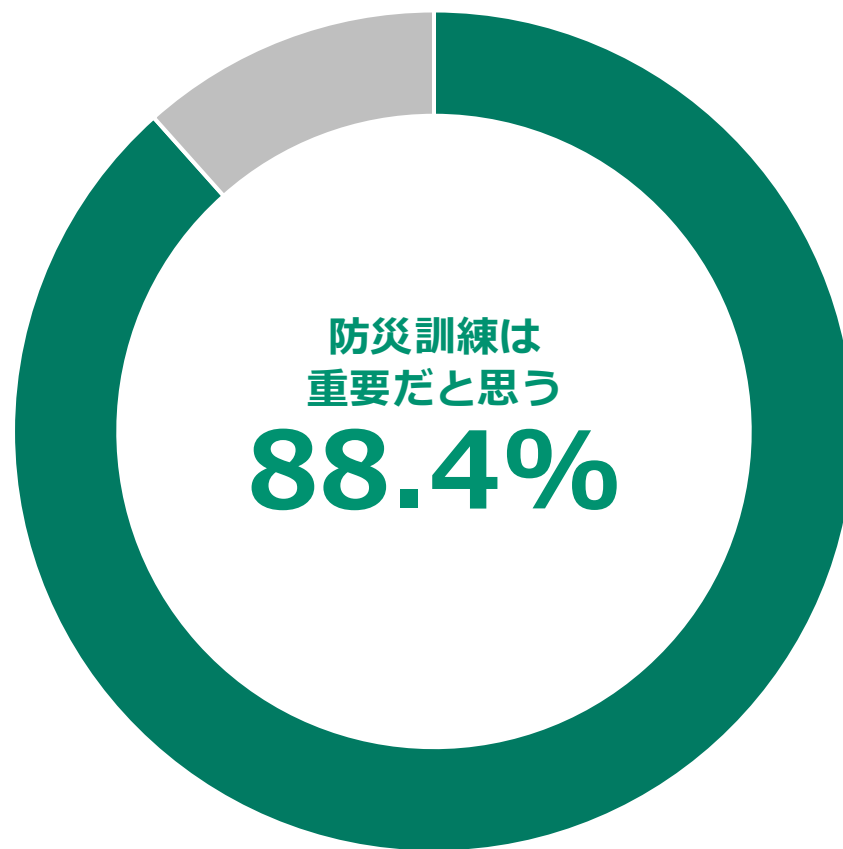
自然災害のうち、何が怖いですか？

つぎに、自然災害のうち、何が怖いかたずねたところ、地震がTOPで83.6 %
ついで、大雨・豪雨と台風と続きます。

（複数選択による回答。単一で最も怖いものを選択してもらった場合も同傾向）

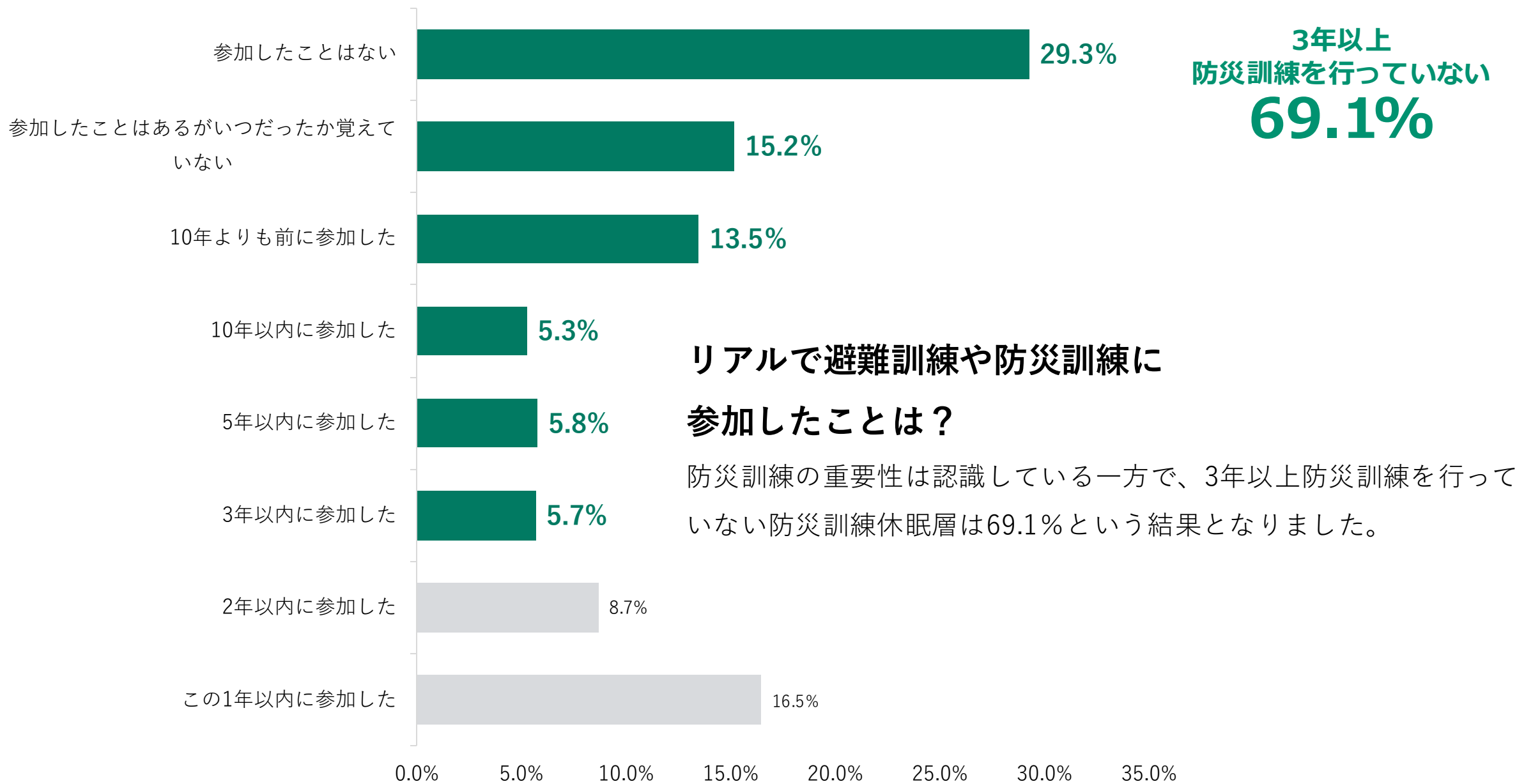
防災訓練は重要と考えるが、約70%は3年以上未実施

防災訓練の重要性についてたずねたところ、実に約90%近くの人が、防災訓練は重要だと思うと回答しました。

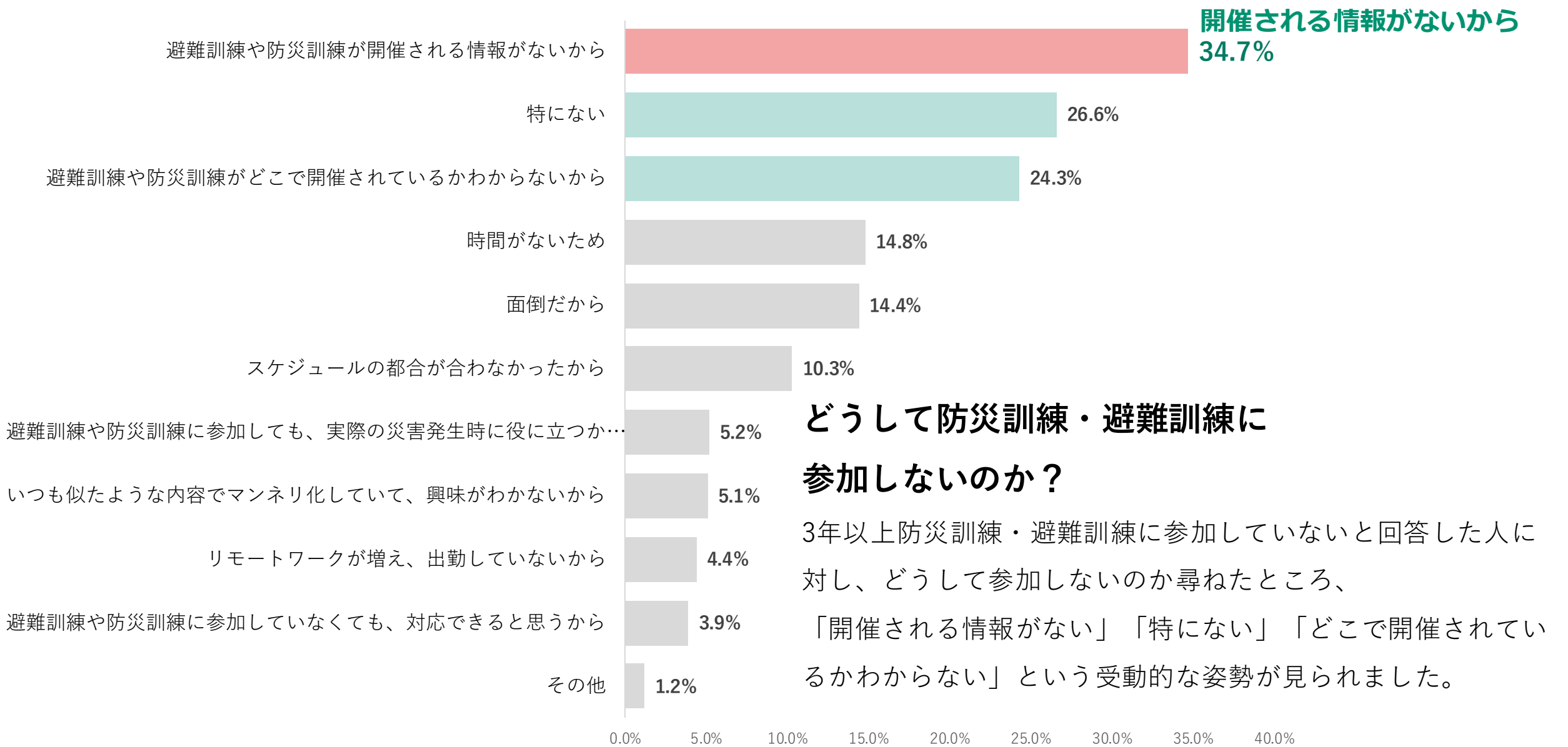


TOP2合算

防災訓練は重要と考えるが、約70%は3年以上未実施



防災訓練は重要と考えるが、約70%は3年以上未実施

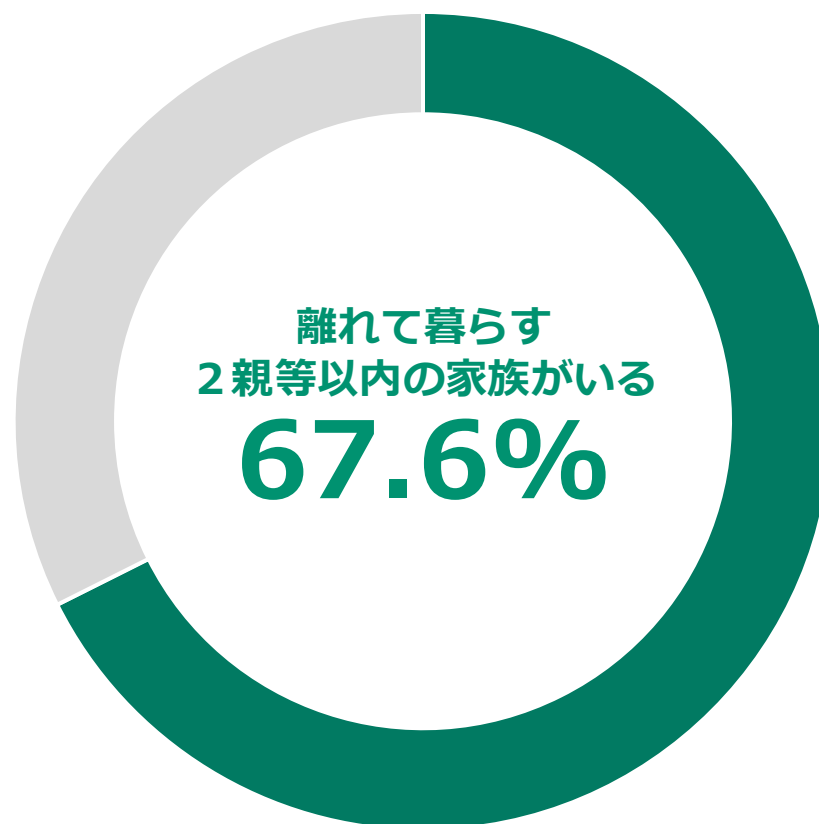


どうして防災訓練・避難訓練に参加しないのか？

3年以上防災訓練・避難訓練に参加していないと回答した人に対し、どうして参加しないのか尋ねたところ、「開催される情報がない」「特にない」「どこで開催されているかわからない」という受動的な姿勢が見られました。

離れて暮らす家族の災害時の備えを心配している

2 親等以内の離れて暮らす家族についてたずねたところ、
約70%近くの人が、離れて暮らす家族がいると回答しました。

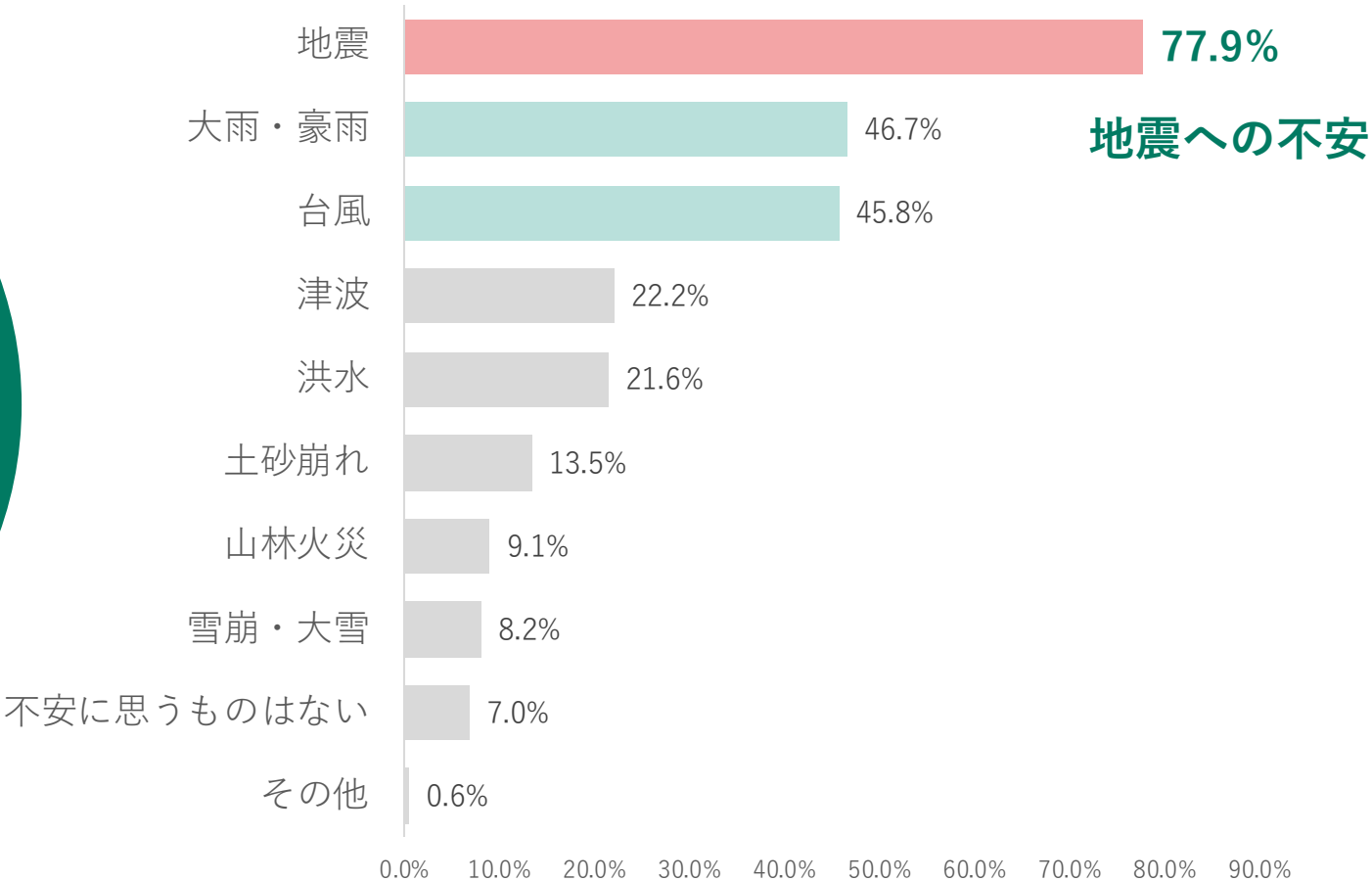
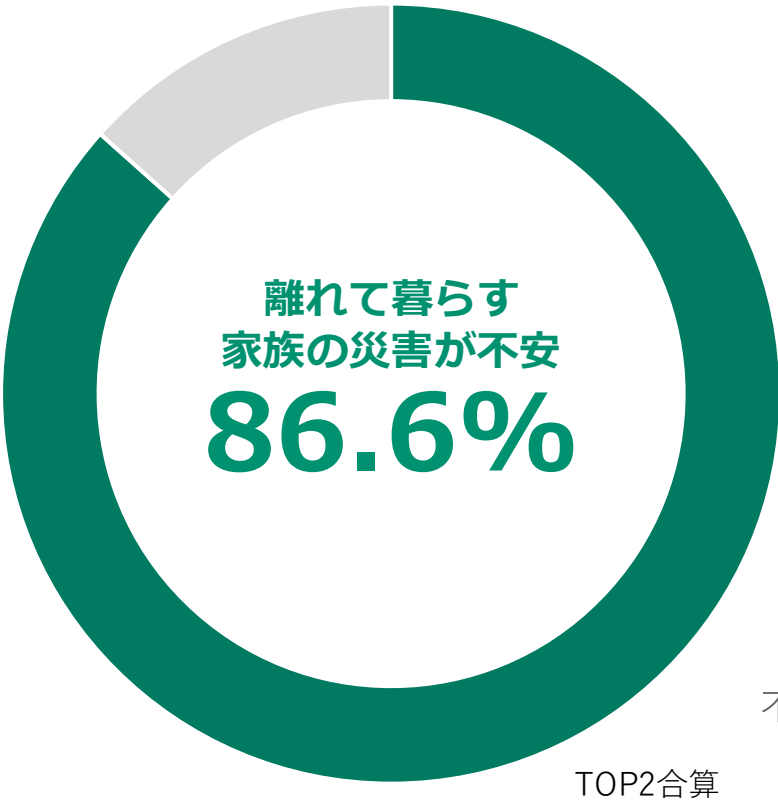


離れて暮らす家族の災害時の備えを心配している

離れて暮らす家族の災害に対する不安についてたずねたところ、実に約90％が不安だと回答しました。

離れて暮らす家族に対する自然災害のうち、何が怖いかたずねたところ、地震がTOPで77.9%。

ついで、大雨・豪雨と台風と続きます。

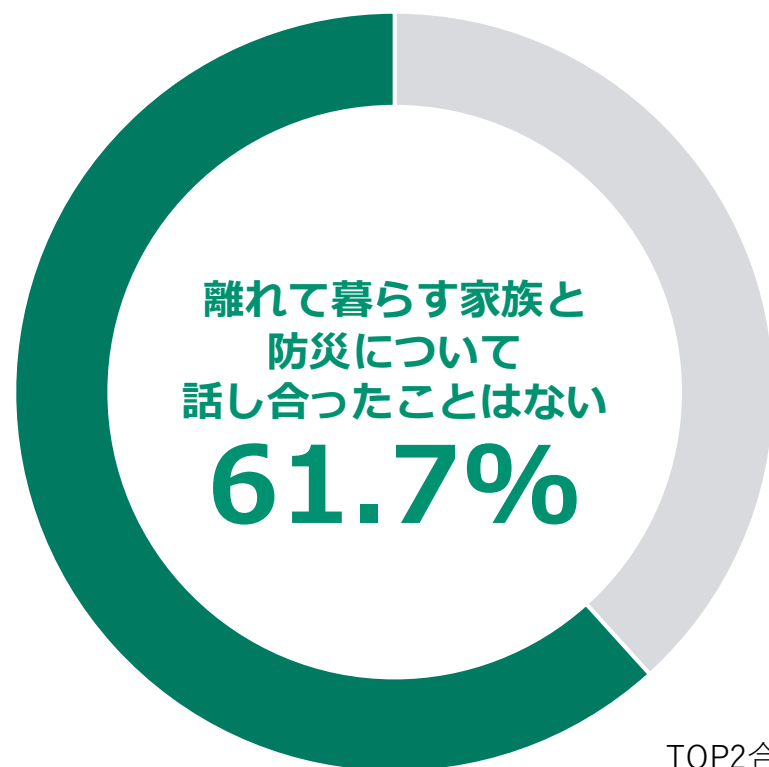


離れて暮らす家族の災害時の備えを心配している

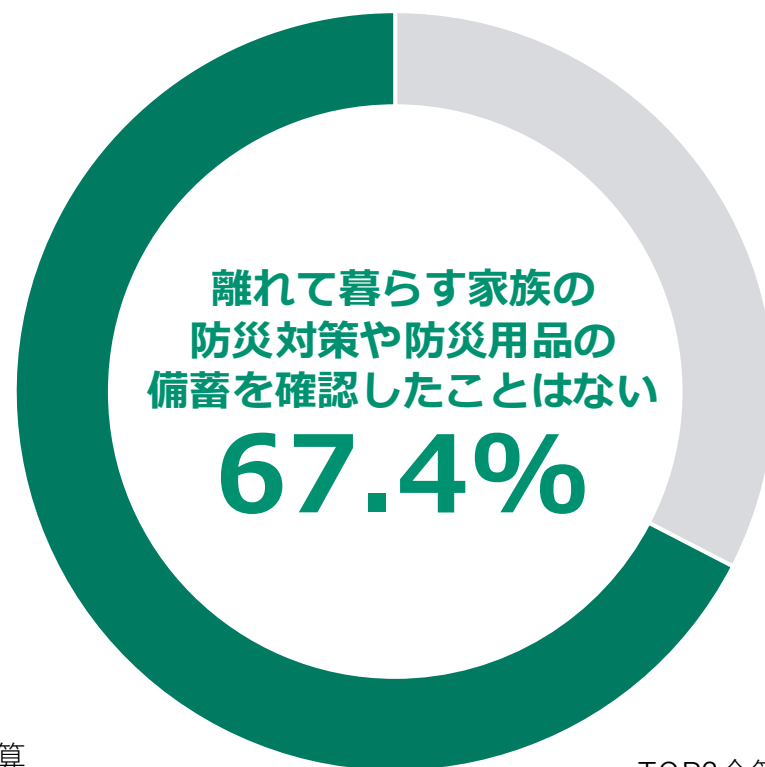
離れて暮らす家族の災害に対する不安はあるものの、実に約60％は離れて暮らす家族と防災について話し合っていないと回答しています。

また、約70％が離れて暮らす家族の防災対策や防災用品の備蓄について確認したことはないと回答しており、約70％が避難所についても話し合ったことがないと回答しています。

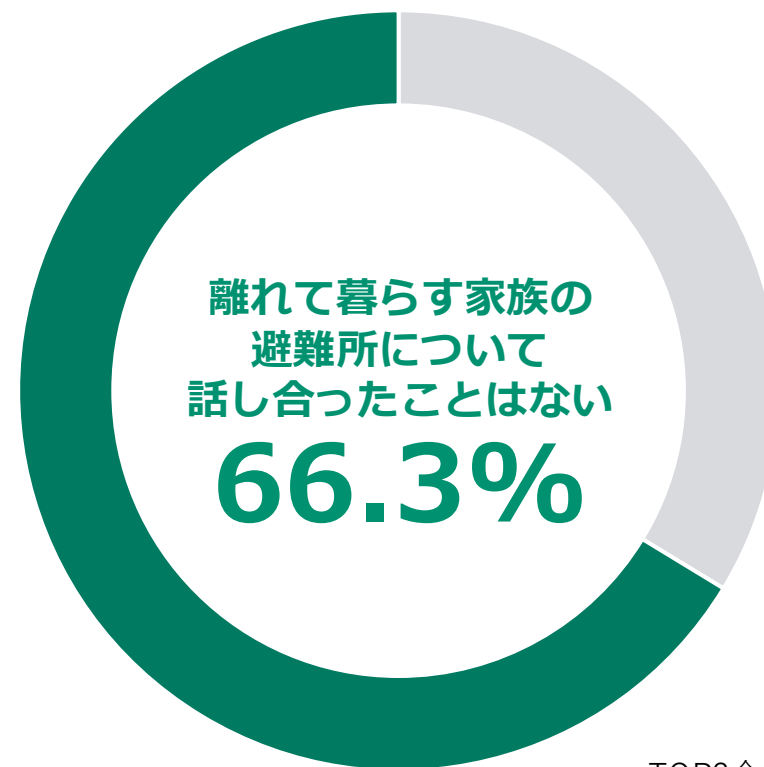
離れて暮らす家族に起こる災害に不安はありますが、具体的な対策には及んでいないという実態が分かりました。



TOP2合算



TOP2合算



TOP2合算